

令和5年度 第4回 伎倍小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月9日（金） 14時30分から16時25分まで
 - 2 開催場所 伎倍小学校 会議室
 - 3 出席委員 木俣 保広、飯田 勤、小畑 淑子、鈴木 健太郎、竹内 真哉、松本 純一
金原 江里華、石井 好代、鈴木 佐織
 - 4 欠席委員 0人
 - 5 学 校 中村 信也（校長）、中道 昌良（教頭）、鈴木 成幸（教務）
佐藤 富子（CSディレクター）
 - 6 傍聴者 0人
 - 7 協議事項
- （1）学校評価について
 - （2）令和6年度学校経営方針について
 - （3）令和6年度学校支援ボランティアについて
 - （4）学校運営協議会の自己評価について
- 8 会議録作成者 CSディレクター 佐藤 富子
 - 9 会議記録

会長挨拶

お正月から北陸は大変な始まりだった、そんな時こそ逆境の中何ができるのか私たちも考えていきたい。令和5年度はコロナ等逆境を乗り越え、色々な成果を出せたと思う。

いろいろなことがあったからこそ知恵を出し合って活動ができた。みんなの力があったからこそだと思う。来年度はまた新しい体制でやっていけたらと思う。

校長挨拶

6年生が卒業に向けて卒業プロジェクトとして学校の為にいろいろと頑張っている姿を見ると、頼もしい反面、寂しく思う。5年生も6年生を送る会をみんなで作り上げて頑張っている。そういう温かい気持ちが育っていてうれしく思う。

CS3年目となり、学校の目標を具現化できてきており、成果も表れていると思う。今後も持続可能な支援をお願いしていきたい。

（1）学校評価について

教務より説明、共通理解できた。（以下委員から意見）

月1回の生活アンケート調査、トラブルがあってもフォローしてもらえるため、助かっている。今後も継続して欲しい。（竹内）

他人との競争ではなく、自分で目標を持って取り組むのは良いと思う。それぞれの力を伸ばすことで、お互いの良さを認めることにつながることもあると思う。（石井）

月1回の生活アンケートは、最初は書けなくても、毎月やると小さい事から少しずつ言えるようになるので良いと思う。（佐織）

友達と仲良く遊んだことや学校であったことを上の子は家で話すので様子がわかるが、下の子は言わない。アンケート結果を見ると親御さんも知ることができるので良いと思う。(小畑)

月1回の生活アンケートは良いと思う。自分で言えない子でも文字で書くことなら小さなことでも発信できるのではないかと。継続して欲しい。(金原)

いじめ・不登校はないのが一番だが、子供が学校から帰宅した時の様子で分かる子もいれば、分からない子もいる。分からないものは深みに沈んでいってしまう。沈んでいく前に救い上げていくことが大切。その為にも月1回の生活アンケートは大事だと思う。(飯田)

目標を持ってチャレンジしているかのところが、先生や児童は概ねできているになっているが、親はできていると思っていない。先生・児童の意見と親とのギャップが面白い。親が思うハードルが高いのか？一致していればいいというものではないが、お互い理解しつつ進めていくのが大事なのではないか。(木俣)

人間関係のトラブルは大人でも早く双方の意見を聞いて処理するのが大切。子供も月に1回聞いてもらえる機会があるのは助かる。(健太郎)

(2) 令和6年度学校経営方針について

校長より説明、共通理解できた。

子供たちの対話力を高めていきたい。正しく情報が処理できておらずトラブルの原因となることもあるので「多種多様な情報を自他共に正しく比較・判断できる力の育成(情報活用能力の育成)」を行っていきたい。

働き方改革と言われるが、職員の仕事量はなかなか変わらない。業務を紙媒体からデジタルにして、教育の情報化・DX化を進めていく。

「なかよく」の部分が簡潔に書かれている。個性を育てると書かれている部分と集団と書かれている部分があるので、分かりにくい。(木俣)

グランドデザインをきちんと保護者が理解することが大切。本校の地区は期待値の高い親が多いと思う。CSボランティアで活動の補助をする等、先生の手助けになればいいと思う。みんなで協力し合ってやって行けたら良いと思う。(石井)

グランドデザインにしてもCSにしても、いろんな人に伝えることが大切。来年度も頑張りたいと思う。(竹内)

グランドデザインを先生方がここまで考えていることを保護者は分かってないと思う。僕らができることを来年度も考えながらやっていきたい。(健太郎)

スクラップ&ビルドのスクラップがなく、先生方の負担が増えるばかり。その解消のためには、学級担任2人制を希望する。(飯田)

先生方の仕事は大変だと改めて感じた。働き方改革として、いろいろと工夫している事が分かった。今は情報化社会なので、うまく対応できる子になって欲しい。校長先生の説明のとおり、対話力が大切だと思った。(金原)

自身が参加して思ったことだが、PTA活動に皆さんにもっと参加してもらいたい。親同士の関わりも増えるし、親同士や先生と話し合える場があるといいと思う。参加する親が増えると子供と

のコミュニケーションも増えるのではないか。(小畑)

愛媛県の高校生がラウンド1を誘致するニュースを見て、このように子供が自主的に動けるようになって欲しいと思った。社会を変えていけるベースづくりを小学生の時からやって欲しい。(佐織)

(3) 令和6年度学校支援ボランティアについて

伎倍小応援隊の活動を画像等で竹内コーディネーターより説明。

出席していただいた皆さんと共通理解できた。

(4) 学校運営協議会の自己評価について

来年度は積極的に参加したい。(佐織)

2年目は取り組めるように頑張りたい。(小畑)

PTA会長として単年度の参加となるため、事前にCSボランティアについて情報が分かるものがあるといいと思う。第1回の協議会でいろんな情報に紛れてしまい分かりづらかった。(松本)

今年度参加したいと思いつつ参加できなかった。何か力になることがあれば参加したい。(金原)

それぞれ成果があったものと反省すべきところがある。評価してもらったことを全て来年度に生かして行きたい。(飯田)

課題を探し出して、これからに生かす。評価を有効に使う。(木俣)

軌道に乗るとまた問題が出てくる。新しい問題に柔軟に対応していく。登録してくれた人に何かアプローチ出来ないか、皆さんの意見を参考にしながら考えていきたい。(健太郎)

みなさんの意見を参考にしながら来年度もやっていきたい。ライン登録の仕方をもっと簡単にできないか考えたい。登録の仕方を説明しながら行うのが大切なのは。(竹内)

情報発信力が大切、もう少し共有をしっかりとしていれば良かったと思う。情報発信する人がコーディネーターだけでなく、いろんな人から発信して貰いたい。(石井)

(5) その他報告事項等

司会より、夢はぐ、来年度のコーディネーター等説明、出席して頂いた皆さんと共通理解できた。

次回会議は、令和6年4月23日(火)午後14時30分から会議室で開催する旨の報告があった。